

うるわし通信



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成27年3月

「賑わいまちづくり」に取り組んでいます。煌めく街造り

桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会と連携し、「大和さくら100選」を市民の皆様のご支援を得て取組みました。現在、この100カ所を結ぶ周遊ルートの開発に取り組んでいます。

第1話として三輪に伝わる「赤糸伝説」を題材に周遊ルート「縁結び～赤糸の小道～」を設けました。古事記によりますと 三輪の祭神:大物主と大神神社の初代祭司:大田田根子の祖・活玉依媛(いくたまよりひめ)が赤い糸で結ばれました。この事から恋人同士が赤い糸で結ばれていると信じられる様になりました。この古事に因み、縁結びの道として全国に呼び掛けご縁の加護を受ける辿り人が所縁の地を体感体験頂けます。

この事から箸中山(箸墓古墳)より大神神社までの道則(約4km)を1本の赤い糸で結び、結び人として地域の子供達や住民の皆様でこの赤い糸を支え、活玉依媛がこの赤い糸を辿ったとされます催しを地域企業のご支援を得て進めさせていただきます。

2月11日には、うるわしの会員様もご参加頂き三輪そうめん山本で奈良図書館 館長の千田稔先生による講演会が行われました。当日は館内一杯(約120名)のご参加を頂き『「三輪の神が来た道」について、桜井こそ国のはじまり』の講演を頂きました。この講演を機会に地域の皆様とも催しに向けた結束が図れました。

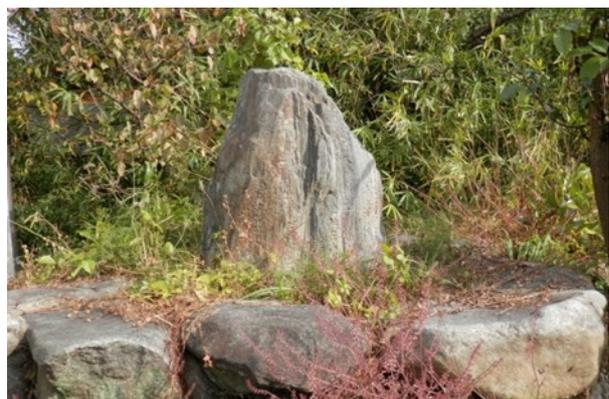
又、この地は「清き水・清い風」に育まれたそうめんの地でもあり、桜井を来訪いただきました皆様へのご案内として、そうめん処・販売所のマップを作成させていただきます。

これらの催しを通じ、大神神社の大鳥居を中心に「そうめんRoad(仮称)」を設け、街の賑わいづくりと子供達への郷土を育む事業を通じ、桜井市の煌く文化の熟成に取り組んでいます。

*催しに関心ある方は 藤井までお知らせ願います。 ☎ 090-9163-3084



千田稔先生による講演会の催
(三輪そうめん山本)



赤糸を埋め奉納したとされる芋環塚(おだまきつか)
(桜井市箸中・北池の畔)

桜井本町通及び桜井駅周辺についていろんな声紹介

※合意形成には時間がかかる⇒各自楽しく自発的に行動し、元気な人がつながれば大きな力に

(近畿大学久先生のお言葉—ならまちづくりフォーラムinエルト2・22より)

年末年始にかけ、地域商店街活性化事業（依頼者；桜井市本町通り1～3丁目商店街）により、下記のグループヒアリングを実施しました。その意見の中から大切なキーワードのみ、ご報告させていただき、今後の駅南エリアのあり方を考える上で参考にさせて頂ければと思います。

なお、そのまま（全て）のアンケート結果は、市民活動交流拠点（エルト2階）のレターケース（桜井本町通周辺まちづくり協議会）にありますので自由にご覧ください。

●ヒアリング対象者

グループ1；高校生（桜井高校生徒会4名H26年12月18日）

グループ2；子育て世代の母親（子ども読未知女性5名H26年12月4日）

グループ3；高齢者世代（本町通2丁目住民他7名H27年1月13日）

●ヒアリング実施者

（株）地域計画建築研究所（中塚氏、浅田氏）、大阪工業大学（林田先生）、当会（中尾）

●ヒアリング内容

- ① 利用状況、②交通機関、③社会教育施設、④アーケード撤去後のイメージ、⑤店舗
- ⑥祭り・イベント・観光、⑦高齢化、⑦昔の様子、⑧駅周辺の雰囲気、⑨アーケード撤去後のイメージ、
- ⑩エルト、⑪情報発信、⑫周辺の施設、⑬その他について

【高校生（県立桜井高校）の声】

- ・通学路でないので普段は殆ど行かないが商店主と知り合いになれば利用するかもしれない
- ・店内が明るいと入り易い
- ・アーケードが無くなったことすら知らない
- ・1年生のカリキュラムに奈良TIMEが導入されており、文献やフィールドワークなど地域の歴史を学習している
- ・駅前のコロッケ屋、パン屋、たこ焼き屋、市民会館前のスタジオジュエルをよく利用する
- ・町家で桜井の歴史や文化を伝承すれば良い
- ・高校内にフューチャーセンター（情報発信）がある（H27年度からもう少し地域と積極的に関わる）
- ・駅前に本屋、ファーストフード店が無く不便
- ・気軽に利用できるカフェがあると良い
- ・神社の門が開いていれば気軽に利用できる
- ・座って話せる場所が無い（エルトは利用できない）
- ・育成幼稚園前のポストはレトロ感があって雰囲気が良い
- ・古い町家などを宿泊施設に利用できれば、訪れる人が増える
- ・町家利活用は、平日は大人、土日は高校生が楽しめれば良い
- ・地域の方々と地域イベントや校内イベントを通じて連携できれば



【子育て世代の母親（子ども読未知35歳～50歳）の声】

- ・地域の色々な年齢層の方と触れ合える子育てをしたい（おつかいに行かせられる店があれば）
- ・魅力があれば（旨いランチ・ソウルフード等）遠くても行く。「書籍店、パン屋、スイーツのお店、スイーツイベント、絵本カフェ、雑貨店、買い物や食事をして地域でお金を落としてくれるようなお店、図書館の駅前分室、子どもと母親がのびのび遊べる公園、高齢者向けのスーパーカートのような貸出、子育て層が利用できる医院」等があったら良い
- ・エルトについて「子育て層は利用していない⇒子どもの習い事ができる場所があれば良い。まねき屋の食品は高いが高齢者向けの宅配サービス・パック売り等は良い。外壁が汚い。」
- ・そらほんまちフェスタは子どもが多く参加していた（若い人が駅近に住んでいると判った）



【高齢者世代の声】

- ・昔の様子；昭和40年代が一番栄えた。県下3番目商店街であった。阿波踊りなどのイベントがあった。ニチイがあった。大衆食堂など盛況な店が多かった。
- ・駅に近くてよく利用している施設について；まねき屋（週に3～4回、午前中に利用することが多い）、カットサロン、花屋さん、コンビニ、郵便局、銀行、ついでに立ち寄りのお店
- ・交通機関について；健康のためによく歩く、自転車も利用する
- ・社会教育施設について；エルト2階や地域の公民館施設を使う機会は少ない。駅前のペンションではコーラスなどで利用する。
- ・エルトについて；もっとわかり易い情報提供が必要。駅とエルトが2階でつながればもっと利用者が増える。
- ・アーケード撤去について；明るくなった。寂しくなった。立ち話がしにくくなった。寂しくなった。雨のジョキングする人が減った。通行規制内でも50～60台／日通っている。沿道住民は車が通行できる方が良いという意見が多い。通行規制内⇒一方通行（東方向）協議中
- ・「和・洋菓子店、モーニングや気軽に入れる喫茶店、観光客帰りのお土産物店、駅前でそうめんが食べられるところ、若い人が集まると良い（保育所・託児所）、地域の方々が気軽に集まれる場所、うどん・ラーメンの宅配、桜井に来た知り合いを連れて行けるお店、スーパー・銀行・病院帰りについでに寄れる店、安いスポーツジム」があったら良い
- ・観光やイベントについて；明日香のみかん狩りで多く来るような桜井の特色のあるイベント、もっと入りやすい観光案内所、もっと桜井市をPRすべき
- ・提案；空き地を活用して花いっぱい運動をしてみてもどうか

こうした、結果から、桜井駅南エリアには、多世代にわたり「気軽に、ついでに、帰りに、友人と、利用したいとき」といった立ち寄れる場所＝居心地の良い場所（居場所）と人を呼ぶ観光案内等の施設の充実が必要であることが判ります。そこで、できる人から、したい人から、元気な人から行動し、楽しくつながっていけば大きな力となります。そんな場づくりをしてきましょう。

うるわしの桜井をつくる会常任理事 中尾七隆

事務局だより

- うるわしの桜井をつくる会事務局の電話番号が変更になりました。
新しい番号は 0744-43-7773 (FAX兼用) です。よろしくお願いします。
- 常任理事会は5月23日(土)午後1時30分より「市民活動交流拠点」(まほろばセンター第1研修室)で行います。
- 平成26年度定時総会を6月13日(土)午後1時より桜井市立図書館にて開催します。

お知らせ

●図書館友の会

3月の読書会は、『地球から来た男』星新一著を読みます。
おれは産業スパイとして、ある研究所にもぐりこんだ。だが内部の警戒は厳重で、たちまちパトロールの守衛につかまってしまった。
日 時 3月24日(火)午後1時30分から
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 TEL: 090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



●纏向遺跡の最近の調査とその成果 桜井市観光ボランティアガイドの会公開講座

講 師 森 暢郎(のぶろう)さん (桜井市教育委員会文化財課技師)
日 時 3月26日(木)午後1時00分～
場 所 まほろばセンター研修室
申し込み不要 参加費無料
問い合わせ先 桜井市観光ボランティアガイドの会事務局
桜井市役所観光まちづくり課内 TEL: 0744-42-9111

- 昨年、歴史部会で講師をお願いしました、雑賀(サガ) 耕三郎先生が、平成27年度まほろば文化講座「おもしろ歴史講座」の講師を務められます。実施日は5月8日が第1回目で、午後7時から8時30分(年6回予定)
問い合わせ先 まほろばセンター ☎0744-42-1973(申込みは4月6日から4月30日迄)

後記 期末の3月を迎えています。一年をふり返って市民運動がようやく軌道に乗り、官民協働も着々と進み、広く市民が期待感を抱き始めたことを肌で感じています。

ところが、ここに来て副市長人事が浮上しています。人事は市長の裁量権であるとしても、上層部の姿勢次第では市民運動を停滞、あるいは遅滞させる恐れがあります。ここまで来た市民運動を、よまや後退させることはなかりうと信じつつも、わたしたち市民運動グループは強い関心と深い懸念を抱かざるをえません。市長の透明な説明も必要ですが、市会も改選間近とはいえ、真剣な討議をお願いします。(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345